

2021年4月1日発行 会報第1050号

今週のプログラム

(2021年4月1日 第1050回例会)

卓話：言い値で買ってもらえるモノ作り
ゲストスピーカー 渡辺 良機様

担当：高尾 修会員

次週のプログラム

(2021年4月8日 第1051回例会)

「お花見例会」

担当：黒川 彰夫 親睦委員長

第1049回例会 (2021年3月25日の記録)

<会長の時間>

山本 友亮 会長

皆様、こんばんは。23日火曜日にリモートですが今年度のIM第2組会長・幹事会が開催されました。今年度IM第2組の西川 正一ガバナー補佐からは、地区がこれから提唱していく『ロータリー希望の扉プロジェクト』についてのお話がありました。プロジェクトを立ち上げられた主旨ですが、「自粛要請や緊急事態宣言により、社会・経済活動が滞り、ロータリー活動は例会、理事会が開催できず、奉仕活動も縮小を余儀なくされました。人と人が集って親睦を深め、奉仕を行うというロータリーの基本的なスタイルが、大きく制限されてしまいました。新たな活動のあり方を模索するなかで、緊急事態宣言が解除された今、ロータリーとして何ができるのかをすべてのロータリアンともう一度考えてみたい、そして、そのきっかけとなる機会を提供する事が、今の地区の使命であるという思いから『ロータリー希望の扉プロジェクト』を立ち上げることに致しました」と、述べられておられます。まだ詳しく理解できておりませんので内容につきましては、差し控えますが、今後西川ガバナー補佐が例会に来られるなどの方法で説明していかれるようです。また、会長・幹事会では各クラブの現状の例会についての意見交換もありました。ほとんどのクラブも3月になって当クラブ同様、直接お会いできるリアル例会を再開しておられました。

例会のやり方など緊急事態宣言解除後も各クラブともいろいろな工夫をされ、食事なしやお弁当の提供、スクール形式での食事などさまざまでありました。4月8日には当クラブと同じく懇親会を予定されているクラブもありました。またまた、コロナ感染者が増加傾向にありますので大変心配ではありますが、どうかワクチン接種が一巡するまで、最悪でも今ぐらいの状況であることを願ってやみません。



＜出席報告＞

松田 親男副 SAA

会員数（内出席免除会員 1 名） 17 名

本日の出席者数 10 名

（内免除会員 0 名）

（名誉会員 0 名）

本日の出席率 62.50%

3 月のホームクラブ出席率 70.77%

＜ロータリーソング＞

全会員

♪それこそロータリー♪

＜本日のピアノ曲目＞

近藤 美里さん

1. さくら
2. 桜坂
3. 涙のトッカータ
4. ル・ローヌ

＜新規米山奨学生 世話クラブ委嘱状・カウンセラー委嘱状授与＞



山田克子会員が 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までアクサ メイリアナ インタニさんの
カウンセラーを務められます。どうぞよろしくお願い致します。

＜幹事報告＞

水本 徹 幹事

1. 春の RYLA セミナー開催のご案内・実施要項が届きました。
今回は 2021 年 5 月 1 日のみの開催でオンライン形式になります。
受講料は参加青少年・ロータリアン共に無料です。
案内チラシをレターケースに配布致しました。実施要項を回覧致しますので、
推薦される受講生がおられましたら、案内チラシ裏面にご記入頂き、
当クラブ事務局までご提出ください。
2. 地区国際奉仕委員会ニュースレターを回覧致します。
3. 米山記念奨学会より新規米山奨学生の世話クラブ委嘱状及びカウンセラー委嘱状が
届きました。



<SAA 報告>

松田 親男 副SAA

スマイルボックス

相原会員 コメントなし

ラオス基金

柳原会員 釣りに行きたいです。

ロータリー財団

黒川会員 帯状疱疹の後障害は落ち着いて来ました。

高尾会員 コメントなし

米山記念奨学会

水本会員 いよいよ開幕！！ 今年は楽しめそう！

藤田会員 桜が咲いています！！

水島会員 藤田会員、卓話宜しくお祈いします。

黒川会員 大きな学会2つが終わりました。(Zoomにて)

山田会員 村田先生とおしゃべりして、ほんわかしてきました😊

高尾会員 コメントなし

メイプル基金

山本友亮会員 さあ、開幕。阪神ガンバレ

藤田会員 本日卓話です。皆様宜しく！！

黒川会員 藤田さんの卓話楽しみにしています。

柳原会員 コロナで税務調査ないです。よほどのものを除いて！



《本日例会のお食事》



1. 油鶏
2. 酸辣湯
3. 春巻・焼売
4. 豚バラ・キャベツのピリ辛炒め
5. 蟹玉
6. 白飯・ザーサイ
7. デザート

<卓話>

レジリエンスを考える

藤田 芳浩会員

2021年 1月21日の「職業奉仕フォーラム」でお話しさせていただきました際に、「SDGs 17の目標と169のターゲット」が設定されている事を申し上げました。その中で「目標9」と「目標11」の中に「レジリエンス (Resilience)」(元々は、心理学の言葉との事ですが、直訳すると弾力・復元力・回復力と言った言葉です) が表現されています。特に身近に感じたのは災害等からの強靱な回復力といった内容です。そこで皆様に「自然災害にあってもいち早く元の状態に回復できるインフラの構築に備える」というアンケートをお願いしましたところ、多くの貴重なご意見を頂きました。有難うございます。その中には複数の会員がBCP(事業継続計画)を策定されておられました。自然災害として想定されるものには大きく分けて「豪雨による水害・崖崩れ等の災害」「台風による河川の決壊等の洪水・風害災害」それと「地震災害」前者の2つはある程度予測が付きませんが、地震だけは予測が付きません。とはいえ何らかの指針が必要です。そこで本日ご覧頂きたいのは2月24日に村田会員から情報を頂き、事務局の近藤様からメールで頂きました「関西大学 防災に関する特別講演会」を参考に見て頂きたいと思います。

この中でポイントは、

- ① 地震が一番弱い所から被害が出てくる。
- ② 関西は、地震が少ないと思っているのは間違いで、過去の事例を見ると地震の多い場所である。
- ③ 地震の被害を少なくするのは、発生前の準備が大切。

以上の3点になります。

私もこの講演が非常に参考になりました。今後、発生前の準備としてBCP(事業継続計画)をLCP(生活一いのち一継続計画)と読み替えて、皆様のお知恵を拝借しながら防災備品等も具体的に検討して行きたいと思います。その際には、ご協力宜しくお願いいたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



目標9 レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進すると共にイノベーションの拡大を図る。

目標11 都市を包摂的・安全・レジリエントかつ持続可能にする。

